

2024.06.16. 聖書預言・アップデート

なぜイエスは、終わりの時、ロトの妻を思い出すよう仰ったのか

JD ファラグ牧師

主よ、ありがとうございます。来て「聖書預言・アップデート」を聞ける場所があることに感謝します、主よ。あなたの御言葉が教えられているから、私たちはあなたの御言葉を聞くことができます。私たちはあなたの御言葉によって励まされます。御言葉に入るにあたり、主よ、私たちの霊を静めてくださいますか？ 私たちをあなたへ引き寄せて、語って下さい。あなたにすべての称賛と栄光を捧げます。イエスの御名によって祈ります。アーメン。イエスの御名によって、アーメン、アーメン。

おはようございます。ようこそ。どうぞご着席ください。おお～～なんと。見て！！ 私はとても甘やかされています。でも、私を甘やかすのを止めないでね。会衆から JD ヘレイ🌸とキス❤️（白は）私の色ですね。私（のパーソナルカラー）は夏、真っ盛りの若者です。秋？=初老です。どうかな？ 春？=子供かな？ どうもありがとう。じゃあ、祈りで締めくくりましょう。ー（笑）ー

では、おはようございます。来てくれて嬉しいです。オンラインで参加の方も歓迎です。大変嬉しいです。その前に、この場で、すべてのお父さんたちに幸せな、そしてもっと重要な、祝福された父の日をお祈りしたいと思います。さらに重要なのは、父の日として祝い、記念するこの日に天の御父を祝福し、敬うことです。ですから、父の日、おめでとうございます！ 皆さんの父の日が、祝福されますように。多くの方がご存知な通り、日曜日には2つの礼拝があって、第一礼拝は、「聖書預言・アップデート」に専念し、毎週長年してきています。ハワイ時間11時15分からライブ配信する第二礼拝は、「説教」で、神の御言葉の節ごとの学びです。現在「ヨハネの黙示録」で、ご存知それが日曜日の第二礼拝で、木曜日の夜の礼拝は「ダニエル書」です。「ダニエル書」と「黙示録」を同時に教え、学ぶまで、あなたは生きていくことになりませんよ。ですから、そうしています。神は大変良いお方です。私たちはそれ故、大変祝福されています。今週の木曜日は、主の御心なら、で、私たちがまだここにいるなら、カフェインがもっと必要？ まだ早すぎ？今週の木曜日は、「ダニエル書7章」に入ります。この非常に預言的で驚くべき書の中で、私たちは大きな節目を迎え、それは、実に「黙示録」と一致します。なので、木曜日の夜7時から、聖書の節ごとの「ダニエル書」の学び、聖書の学びにぜひ来てくださるのをお勧めします。で、今日のこの第二礼拝は、最初の教会から始めます。先週、7つの教会の概要を見ましたね。最初の教会、最初の教会への最初の手紙から始め、彼らは、初めの愛を、無くしたのではなく、離れたことについて書かれています。そして、そうすることで、私たちがイエスへの初めの愛に立ち返ることができる実践的な方法を見ていきます。それが第二礼拝、ハワイ時間11時15分からライブ配信します。ユーチューブやフェイスブックでご覧の方は、今からウェブサイト JDFarag.org へ直接行き、検閲なし、中断なしの、今日の「聖書預言・アップデート」を丸ごと是非ご覧ください。それでは、始めましょう。

『イエスはなぜ、終わりの日にロトの妻を思い出すようにと仰ったのか』

特異な箇所から生じる質問に答えたいと思います。特異という意味はイエスは興味深いことに、預言の質問に対する答えの中に、シンプルな3語の文章を挿入されました。イエスは、他でもないパリサイ人から質問されました。彼らはイエスに聖書預言の質問をして、その答えの中に、3つの言葉が隠されています。

「ロトの妻を思い出さない。」なぜか？ それを今日お話ししていきます。では、「ルカの福音書17章」を一緒に見て下さい。まずはそれを読んで、イエスがどのように説明されているのかを説明し、私たち全員が、私も含めて、個人的にそれを適応できるようにします。「ルカの福音書」17章20節を取り上げます。いつもながら福音書を読むと、パリサイ人やサドカイ人、律法の教師たち、律法学者たちは、いつもイエスに不意打ちで捉えようとしていたことがわかります。それがまるで出来るかのように。彼らはイエスに質問します。増え続けるイエスのフォロワー皆が、従うことに落胆するかもしれない答えを求めて。その事例が、この20節で、イエスが話しておられます。

ールカ 17:20ー

パリサイ人たちが、神の国はいつ来るのかと尋ねたとき、イエスは彼らに答えられた。・・・

皆さん、彼らの声のトーンが分かるでしょ。皆さんのために、それを再現し、ドラマみたくしようと思っ
てます。ええ、滑りましたね。失敗でした。

・・・イエスは彼らに答えられた。「神の国は、目に見える形で来るものではありません。」

興味深い単語です。敵対的な尋問、あるいは闘争的な対決を意味します。つまり、彼らはカッとし、ムキに
なって、イエスにこの質問をします。きっと鼻につくものだったはず。イエスに、何を聞くかではなく、そ
の聞き方です。それは、彼らの質問に対してイエスが何をしようとしているのかが証明します。で、21
節、(20節)

「神の国は、目に見える形で来るものではありません。」

ー ルカ 17 : 21ー

『見よ、ここだ』とか、『あそこだ』とか言えるようなものではありません。見なさい。神の国はあなたが
たのただ中にあるのです。」

あなた方の前、あなた方の只中、あなた方の中、あなた方の間に。あなた方は神の国について知りたいです
か？ あなた方はイエスを見ているのです。そして今度はこれ、22節が実に興味深いです。一緒に想像力を
働かせてください。イエスに質問したのはパリサイ人たちでした。イエスは、彼らの質問の仕方に見合った
即答をされます。彼らは答えを求めているのではなく、議論を求めているから。イエスがそれに気づいてお
られないかのように。では、どうやってそれが分かるのか？ なぜなら、22節で起こることからです。よく
聞いて下さい。パリサイ人が質問すると、イエスは答えられた。

ー ルカ 17 : 22ー

イエスは弟子たちに言われた。・・・

待って。何て？ つまり、パリサイ人はまだそこにいて、「ふ～む。。。ふ～む。。。ふ～む。。。」それでイエス
はただ彼らに背を向け、一緒にいた弟子たちのほうを向いて、パリサイ人に聞かれた同じ質問の答えを仰い
ます。パリサイ人へではなく、弟子たちにだけに答えを仰るのです。その理由を見ていきます。

ー ルカ 17 : 22ー

イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたが、人の子の日を一日でも見たいと願っても、見られない日が
来ます。」

ー ルカ 17 : 23ー

人々は『見よ、あそこだ』とか、『見よ、ここだ』とか言いますが、行ってはいけません。追いかけてもい
けません。

ー ルカ 17 : 24ー

人の子の日、人の子は、稲妻がひらめいて天の端から天の端まで光ると、ちょうど同じようになりま
す。

ここで止めます。訳すと、「あなたがたはあれは人の子の到来だったのか？」と不思議に思うことはないでし
ょう。いいえ、疑問符はつかないでしょう。誰もが知ることになります。すべての目がイエスを見る。

(黙示録1 : 7)

また、すべてが膝を屈め、すべての舌が告白します。(ピリピ 2 : 10~11)

つまり、間違えることはない。不確実性は全くない。曖昧さは全くない。で、イエスはここで少し方向を変え
られ、聖書のおなじみの部分と融合します。

ー ルカ 17 : 25ー

しかし、まず人の子は多くの苦しみを受け、

(十字架刑とそれに先立つ恐ろしい拷問)

この時代の人々に捨てられなければなりません。

それからイエスはこう仰います。26節、

ー ルカ 17 : 26ー

ちょうど、ノアの日が起こったのと同じことが、人の子の日にも起こります。

ー ルカ 17 : 27ー

ノアが箱舟に入るその日まで、人々は食べたり飲んだり、めとったり嫁いだりしていましたが、洪水が来て、すべての人を滅ぼしてしまいました。

ー ルカ 17 : 28ー

また、ロトの日が起こったことと同じようになります。人々は食べたり飲んだり、売ったり買ったり、植えたり建てたりしていましたが、

ー ルカ 17 : 29ー

ロトがソドムから出て行ったその日に、火と硫黄が天から降って来て、すべての人を滅ぼしてしまいました。

イエスはまだ答えておられます。パリサイ人が尋ねた質問を、弟子たちのために。31節で、イエスが仰ることを聞いて下さい。

ー ルカ 17 : 31ー

その日、(イスラエルは) 屋上にいる人は、家に家財があっても、それを持ち出すために下に降りてはいけません。同じように、畑にいる人も戻ってはいけません。

32節、3語が出ます。イエスはどんな言い方で仰ったのか。イエスは、こんな風に仰ったのか。「ロトの妻を思い出さない。」「思い出さないね？ロトの妻を。」「ロトの妻に何が起こったか思い出さない。振り返ったロトの妻を。」で、33節。33節までしますが、皆さん理由は分かると思います。これは、基本的にロトの妻がしたことと直接言及しておられます。なぜ救い主は、当時の彼ら同様、今の私たちに、ロトの妻を思い出すことを望んでおられるのか。

ー ルカ 17 : 32ー

ロトの妻のことを思い出さない。

なぜか？ なぜなら、

ー ルカ 17 : 33ー

自分のいのちを救おうと努める者はそれを失い、それを失う者はいのちを保ちます。

OK。イエスがロトの妻を思い出すようにと仰ったことが、彼らの心に響いたであろうことを理解するのは重要です。そして彼らにとって、大変心が乱れるものでした。その理由は、彼ら全員が、旧約聖書の聖句を熟知し、その知識を誇りに思う者さえいました。もちろん、イエスはこのことを知っておられたからこう仰ったのです。だから、神の国は終わりの日にいつ来るのかという彼らの預言的な質問にこのようなご方法で答えられるのです。イエスがなぜそう仰るのかをよりよく理解するため、ロトの妻についての記述をさっと、再見した方がいいと思います。「創世記19章」です。その箇所を開いて下さい12節から取り上げますが、

その背景を説明します。「裁きの日は来た。」裁きが来ています。終わりが近いのではなく、もうここにあります。火と硫黄がソドムとゴモラに降り注ぎ、完全に破壊されようとしています。その邪悪さ故に。しかし、問題がひとつだけあります。アブラハムの甥のロトとその家族がそこに住んでいました。神は、正しい者を悪者と一緒に、滅ぼすことは決してないと約束されました。だから、正しい者ロトとその家族を取り除くまでは、ソドムとゴモラを滅ぼせません。どうなるか皆さんご存知でしょ。お付き合い下さい。私より先に行かないでね。で、神は何をしようとされているのか？ ソドムに火と硫黄が降り注ぐ前に、ソドムに人の姿をした2人の御使いを遣わされ、まずロトを取り除かれます。ロトを連れ出さない限り、くたせない。それがこの今から見る12節です。

一創世記 19：12ー

その人（御使い）たちはロトに言った。・・・

その緊急性に気づいてほしいと思います。

・・・「ほかにだれか、ここに身内の者がいますか。あなたの婿や、あなたの息子、娘、またこの町にいる身内の者をみな、この場所から連れ出さない。」

その理由が13節、

一創世記 19：13ー

私たちは、この場所を滅ぼそうとしています。彼らの叫びが主の前に大きいので、主はこの町を滅ぼそうと、私たちを遣わされたのです。」

わお！！ ロトの時代の世に似、匹敵さえするこんにちの世は、主の御顔の前で、どれほど大きな叫びが上がっているでしょうか。私はこう言わせてもらいます。こんにちの世の邪悪さは、ロトの時代のソドムとゴモラが赤面するほどです。し過ぎですかね？ まだ早すぎます？ 留意ください。この叫びの詳細をもう一度見てほしいのです。言い換えれば、泣き叫んでいます。人々は、主の御顔の御前でこの邪悪さ、大きくなったこの悪を何とかしてほしいと神に懇願しています。そして主はそれに目を留められた。そしてその時が来た。「もう終わりだ。」裁きの時が来ています。そしてその日は今です。私たちはここから出る必要があります。14節、

一創世記 19：14ー

そこで、ロトは出て行き、（これは悲しいです）娘たちを妻にしていた婿たちに告げた。「立って、この場所から出て行きなさい。主がこの町を滅ぼそうとしておられるから。」

しかし、彼の婿たちには、それは悪い冗談のように思われた。おお、またもやです。「そう、彼の聖書預言・アップデートは全く別のレベルに達しているよ。日を設定しているみたいで、私たちが今、脱出すべきといわんばかり。こんにちがその日でその時みたいに。」理解して下さい。分かっています。私はあなたのようにこれを受ける側なのです。キリストを拒絶する世に神の裁きが下るとい話を始めるとき、あなたは笑われ、あなたは彼らにとってジョークで、彼らはあなたを嘲笑し、そして彼らはあなたをバカにする。心を強くして、元気を出してください。実際、あなたが望むなら、私は、あなたがどのようにそれをするかを尊重します。さらにもう一步踏み込んで、ペテロの語りを見せたらどうでしょう。

「わお、知ってる？ 君が僕を笑い、馬鹿にし、冗談だと思い、嘲笑しているのって、君は聖書預言を実現しているよ。だから、もっと、もっと、私を嘲笑して。なぜなら、それはイエスがもっと早く来られることを意味するから。終わりの日、裁きが来る直前には、こう考える嘲笑者が出てくるんだ。”なんて冗談、ふざけた話だ”バカにし、あざけり、卑下し、見下す。」これは弁解ではなく、説明のためです。牧師たちが聖書預言についてあえて語らないのも無理はありません。私は弁解しているのではなく、説明しています。私には分かります。私にはよく分かります。聞かされたくない、あるいは聞く耳をもちたくない真実を口にするとき、何が起るかの、その代償を計算したいからです。「裁きが来ようとしています。」「冗談でしょ？ ロト、最近周りを見てます？」これらはロトの娘たちと結婚した義理の息子たちですよ。どれほどロトの心を痛めたと思います？ では15節、

一創世記 19 : 15一

夜が明けるころ、御使いたちはロトをせき立てて言った。・・・

15節のその部分が私たちの聖書になればよかったのに。というのは、ロトに急ぐように促す必要があったと、暗示するからです。彼がそのあたりでぐずぐずしていたのが推察されます。まだそのフレーズを使っています？ 昔の言い回し、「ぐずぐずしている暇はない。」”ぐずぐず”が何なのか、私にはわかりませんが、その意味は分かります。だから、「ロトよ、急ぎなさい!!!」御使いたちは言った。

・・・「さあ立って、あなたの妻と、ここにいる二人の娘を連れて行きなさい。・・・

興味深いのは、義理の息子についてを言わないこと。私たちは、彼らの言葉を聞きました。「さあ、彼女らを連れていきましょう。彼らはいいです。ここにいる彼らから、あなたの娘たちを連れて行きなさい。」

・・・「そうでないと、あなたはこの町の咎のために滅ぼし尽くされてしまいます。」

16節のこの部分が私たちの聖書になかったらいいのに。

一創世記 19 : 16一

彼（ロト）はためらっていた。・・・

彼は躊躇していました。まずロトはぐずぐずしていました。今、ためらっています。ウロウロしている感じで、「ちょっと待ってください。そんな慌てないで、心配しないで。」いいえ、ロトはためらっています。彼は躊躇していた。そうして、

・・・するとその人たちは、彼___の手をつかんだ。

彼らはロトをつかまねばならなかった。

・・・彼の手と彼の妻の手と、二人の娘の手をつかんだ。

その理由が語られていて、

・・・これは、彼に対する主のあわれみによることである。その人たちは彼を連れ出し、（この詳細に留意ください。）町の外で一息つかせた。

一創世記 19 : 17一

彼らを外に連れ出したとき、その一人が言った。「いのちがけで逃げなさい。うしろを振り返ってはいけない。この低地のどこにも立ち止まってはならない。山に逃げなさい。（高い所へ、引き上げられなさい）そうでないと滅ぼされてしまうから。」

では、22節を取り上げます。本当に醜くなります。次に何が起こるか分かります。その御使いたちが言います。22節、

一創世記 19 : 22一

急いであそこへ逃れなさい。あなたがあそこに着くまでは、わたしは何もできないから。」あなたたちがここを出て目的地に着くまで、わたしはこの町を破壊することはできない。それゆえ、その町の名はツォアルと呼ばれた。

一創世記 19 : 23一

太陽が地の上に昇り、ロトはツォアルに着いた

一創世記 19 : 24一

そのとき、(←キーワード)

主は硫黄と火を、天から、主のもとからソドムとゴモラの上に降らせられた。

一創世記 19：25一

こうして主は、これらの町々と低地全体と、その町々の全住民と、その地の植物を滅ぼされた。しかし、

ここです！

一創世記 19：26一

ロトのうしろにいた彼の妻は、振り返ったので、塩の柱になってしまった。

それ自体が興味深い詳細です。妻が振り返らないように、ロトがうしろにいたということ？（注：英表記はどちらにもとれる）ロトが後ろにいるから、彼女はロトの後ろを振り返らねばならなかったの？ それともロトは前にいて、振り返った時、彼女はロトの後ろだった？ そうなら、示すのは、彼女は全く急いでいなかったこと。神の命令に従わず、自分住んでいた町、彼女が愛情を注いでいた町を振り返った。では、ここでひとつ指摘しておきたいことがあります。神から与えられた想像力を働かせて、頭の中で思い描いてください。ロトの妻が振り返ったのは、単なるチラッと見たものではありません。原文では、ある人が適切に言ったように、余韻の残る愛のまなざし。彼女は振り返り、残していきたくないものを見つめた。簡単に言えば、ロトの妻は、自分の愛の根をソドムという仮の土壌に深く掘り下げ過ぎた。だから彼女の心はまだソドムにあった。それで彼女はソドムを振り返った。彼女は、ロトとその娘たちとともに身体的にはソドムを去ったのですが、彼女の宝と心は、霊的にまだソドムにありました。次の箇所はよくご存じでしょう。「マタイの福音書6章」に記されている、救い主ご自身による驚くべき説教です。19節から21節に注目してほしいと思います。イエスはここで、なぜロトの妻があのようなことをしたのか、その理由を説明してくださいからです。イエスが話し、教えておられます。

一マタイ 6：19一

自分のために、地上に宝を蓄えるのはやめなさい。そこでは虫やさびで傷物になり、盗人が壁に穴を開けて盗みます。

一マタイ 6：20一

自分のために、天に宝を蓄えなさい。そこでは虫やさびで傷物になることはなく、盗人が壁に穴を開けて盗むこともありません。

その理由が21節です。

一マタイ 6：21一

あなたの宝のあるところ、そこにあなたの心もあるのです。

留意ください。逆ではありません。あなたの心があるところに、あなたの宝がある。のではなく、あなたの心はどこにあるのですか？ あなたの宝があるところ、そこに心があるのです。これがロトの妻でした。このことから、聖霊に私たちの心の奥深くへ自由に接していただき、私たち全員がそれを自分の人生に個人的に適応することが最も重要だと分かります。どうやって？ どうか聞いて下さい。聖霊に私の心を探っていただき、心の奥底にまだこの世に私が深く執着するものがないかを確認していただくのです。なぜなら、私がまだこの世で宝にしているものがあるから。私はこの地上に宝を蓄えてきた。私の心は私の宝のあるところにある。私の心がここにあり、私の投資がここにあるなら、それなら私の宝はここにある。じゃあ、どうすれば私の宝が何かかわかるのか？ 聖霊がすべての真理に導き、すべてを明らかにしてくださるのがどうやって分かるのか？ それは、あなたが求めないといけません。自分のものにならないのは、あなたがたが求めないからです。（ヤコブ 4：2）

これは神が早急に答えてくださる祈りです。神は私に啓示されます。私の中にあるものは何か？

主よ、私の心をさぐり、(詩篇 139 : 23)

あなたに聞き、あなたを知り、あなたを愛することから、私を遠ざけているものがないかどうか、確かめてください。中途半端ではなく、心全体を。どうやら私にロトの妻を思い出してほしいと思っておられるから。彼女の心はまだ、、こんな歌はないですか？ 私は心を置き去りにした。おお、申し訳ない。歌いたくなかった。皆さんの頭に残ってしまうから。ちなみに、私の場合はこうです。嫌な曲が頭から離れないとき、頭に残る別の曲で置き換えて下さい。いえ、本当です。実際に家で試してみてください。では、どうすればわかるのか？ そう、この世で自分が執着しているものがあるかどうかを知る方法があるはず。それはまだ私の心を掴んでいる。心を捉え、言わば、私の心を驚掴みにしているものを。

では、その答えは、私の人生における最大の情熱は何か？と 自問することで、分かります。それは、私が人生で最も時間とエネルギーを費やしていることで分かります。それがあなたの宝です。あなたの人生の最大の情熱。一番時間を費やしていることは何ですか？ 一番考えることは何ですか？ あなたが最もエネルギーを注いでいるもの、最も打ち込んでいるものは何ですか？ それがあなたの宝のあるところ。そして、あなたの宝がそこにあるのなら、ロトの妻がそうであったように、あなたの心もそこにあることがはっきり分かります。では、私たちは今、救い主から説明を受けました。個人的適応の準備はできていると思います。ロトの妻の個人的な適応です。なぜロトの妻を思い出さなければならないのか？ なぜなら、ロトの妻はこんにちの多くの信者を象徴しているからです。真相を明かせば、この世のソドムとゴモラでの生活を未だに大切に、愛している人たち。当然ではないですか？ イエスが「ロトの妻を思い出さない」と仰った直後に、こう仰る理由が。

「命を救おうとすれば、失うことになる。命を失えば、それを守り、維持することになる。」(ルカ 17 : 33 参照)

つまり、続いてイエスは力強く仰いました。逆説的ですがあります。あなたがロトの妻のようななら、、ロトの妻を覚えていますか？ あなたは、この世で自分の人生を維持しようと、それを守ろうとするなら、あなたの宝はまだそこにあり、あなたの心はまだそこにあるなら、あなたはいのちを失います。そして逆に、「失うなら命を得る」は、クリスチャン信仰の逆説です。私たちクリスチャンがそのことに早く気づき、逆説の現実を受け入れることができれば、より良いです。上がる道は下る道。自分を高めたら、へりくだることになる。あなたがへりくだれば、あなたは高められる。逆説です。別の言葉で言えば、矛盾です。大きなエビ。みたいに。それは矛盾ですよ。これどうです？ 聞いた時、大好きになりました。完全盗作です。「矛盾」マイクロソフト・ワークス (ソフトウェア)。皆さんにお時間差し上げます。意味深ですから。ですから逆説は、「わたしはあなたの命を救おうと、あなたをソドムから脱出させようとしている。あなたは自分の命を守るため、何かを振り返ろうとしている。」何があるの？ ロトの妻は、ソドムでの生活を言わば維持しようと考えた。彼女の心が、、よく聞いてください。二分されたから。彼女は主とソドムの間で心を分裂させていた。なぜなら、彼女の人生と宝と心はソドムにあったから。たぶん、こう言った方がいいでしょう。ロトの妻は、自分の宝がソドムにあったため、心が引き裂かれ、分裂してしまった。だから、彼女の心と愛はまだソドムにあった。皆さんきっと、私の話の向かう先がお分かりでしょう。なので、要点を言います。これがこんにちの終わりの時の教会の姿です。ありがたいことに、神だけがお出来になります。私にはこのタイミングを計れませんでした。しかし、神は、「黙示録」の節ごとの学びの学ぶタイミング、今日、2章から始めるところ、2章と3章の7つの教会のうちの最初の教会に宛てた最初の手紙が記されているところに合わせて下さいました。この7つの手紙のどれもが、終わりの時のこんにちの教会に当てはまります。何が本当に興味深いかという、またしても、私がこんなタイミングを計れるほど賢くありません。はっ！言うまでもありません。実際に、最初の教会に宛てた最初の手紙、エペソにある教会宛の手紙を学びます。彼らは心が分裂していたため、初めの愛から離れてしまった。これもごめんなさいね。これもまた別の歌です。2つの間で引き裂かれた♪ まあ、しばらくそれが頭に残るでしょうね。何人かは来なくなるかも。ごめんね。でも、彼らは主を愛していました。彼らは信者です。彼らはイエスに従う者です。イエスを信じています。でも、初めの頃とは違う。彼らは初めの愛から離れてしまった。なぜか？ 他の何かが彼らの心を主から遠ざけてしまったから。この使徒ヨハネは、自分に与えられた黙示をそのまま書き記しただけでなく、同じ使徒ヨハネが、エペソの同じ教会で一時期牧会したという説もあります。しかし、その一方、彼はエペソから第一、いえ、失礼しました。第二と第三(ヨハネの手紙)の書簡を書いたとも考えられていま

す。今や、35年が経っています。「第一ヨハネの手紙」で彼は、2章15節からこう書いています。

—Iヨハネ 2：15—

あなたがたは世も世にあるものも、愛してはいけません。・・・

で、ヨハネはさらに言います。

・・・もしだれかが世を愛しているなら、その人のうちに御父の愛はありません。

強烈です。聖霊に導かれて、これには聖なる力があります。つまり、ヤコブの言葉を反復させています。ヤコブはもっと強烈です。「あなたは世を愛するのですか？あなたは世の友なのですか？あなたは世と結びつくなら、姦淫だ！！」(ヤコブ 4：4参照)

そんな風に言いましたって。だってヤコブは、マリアとヨセフの間に生まれた受肉なされた神である救い主イエスの異父兄弟ですから。そして、もし私が、完璧で、罪のない救い主と一緒に育ったとしたら、、いつも自分の部屋を清潔にしておられたから、私だって肩身が狭かったでしょう。だからヤコブは、こういう人なのです。この男に会うのが待ちきれません。だって「ヤコブの手紙」は、生き延びたことを神に感謝する書の1つです。Tシャツを用意すべきですね。"私たちはヤコブの手紙を一節ずつ学んだ"そんなTシャツを着る。「私たちはヤコブの手紙を一節ずつ学び終えたぞっ！！私たちはそれを語り継ぐために生きている。」読んだり、勉強したり、あるいは教えたりして、その場からこう立ち去るような書ではありません。「わあ、すごい〜❤️」もっとこんな感じです。「うわ。。怖い。」さらに16節で、こう説明しています。

—Iヨハネ 2：16—

すべて世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢は、御父から出るものではなく、世から出るものだからです。

そしてここからですが、皆さん、ちょっと言い換えたのが、「この世は滅んでいっています。」

—Iヨハネ 2：17—

世と、世の欲は過ぎ去ります。しかし、神のみこころを行う者は永遠に生き続けます。

ここで語られているのは、神は慈悲深い神で、私たちに真実を語るほどに私たちが愛しておられるのです。「この世に投資してはいけません。とても悪い投資だから。多くの理由から、地上に宝を蓄え、投資してはいけません。少なくとも、あなたの心はあなたの宝のあるところにあるからです。あなたは、この世に縛られます。この世に誘惑され、この世に恋をする。わたしは世を滅ぼします。」それは、大金を投じて借家を改装するようなものです。で、賃貸契約は1カ月ごと。自分で言うのもなんですけど、なかなかいい例えでしたね。一体全体、あなたは何を考えているの？狂っていますよ。そんな長くいないのに。「いや、でもこの家が好きなんです。」それが問題です！！愛着がなければ、お金を投じて改装することもないでしょう。しばらく、ここにいるようなものですよ。あぁどおりで、真に新生したクリスチャンの多くが、この世とこの世のものに投資しているのが説明つきです。私たちはしばらくここにいるつもりだと考えているから。先走っていますね。後で戻りましょう。これは、前述の聖句の聖なる強さに伴い、今日のアップデートを私たちの生活への個人的な適応です。預言的に。説明します。これらの聖句は、終わりの日とイエス・キリストの来臨が近いという文脈の中にあります。それはある意味、流れを変えます。それが世の終わり、この世への神の裁き、教会携挙、キリストの再臨、神の国とは関係のない、神学的な質問だったら、そうすると、ある種の闘志が生まれますね？つまり、少し様相が変わりますね？つまり、それがありふれたものなら、そういう意味ではありませんから、誤解しないでほしいのですが、ありふれた一般的な神学的質問ではありません。いえ、これは初めから聖書預言の問題です。最初からその学びです。(直訳：歯が立っています)次は別の比喻を考えようと思いますが。最初から(歯が立っている)という意味は、噛み応えがあります。イエスが来られる終わりの時がどのようなものか、イエスが私たちにもうひとつのしるしを与えてくださっていることを理解するとき、この言葉は力強いパンチが詰まっています。神の国についての質問に対するおまけの答えがわかりましたか？イエスはその質問に答え、こう仰った。「わたしはさらに一歩踏み込んで、空白を埋め、点と点を結ぼうと思います。神の国が到来したとき、それがどのようなかをお話するだけではな

く、神の国が来る前、世がどのようなになるのかも話します。ですから、あなたがたはリストが挙げられます。欄にレ点ができます。ここにレ点を入れる欄があります。」これこそ、イエスが来られる直前の様子。ただ尋ねることにします。主は私の心を知っておられます。誠意と謙遜を持って、どうすれば誠意と謙虚さをもって質問できるか考えているところです。そうすると言っちゃったから。私は尋ねます。こんにちの世は、ロトの日、ノアの日のようなものでは？ 冗談でしょ?! それよりも酷いと思います。待って。イエスは仰いました。「ロトの妻を思い出さない。」ええ、今や彼女を忘れることはできません。彼女が振り返ったのは、そこに宝があるから、心がある場所に戻りたいと願ったからです。彼女はまだソドムを愛していたから。それはあなたですか？ 聖書的に実現不可能なのは分かります。実質的に互角です。しかし、御使いたちは、ロトを掴み出さねばならなかった。私がこう言ったら、信じてください。私を掴む必要はありません。私は主を掴みます。「私をここから出して下さい。」ためらう、戸惑う、ぐずぐずする? いいえ! 私はずっと前から、出たかった。私たちはこんなフレーズを使います。愛着がない。私にはもうここには何もありません。私は、自分の家ではない歓迎されないこの世に、長居してしまっています。私はもう握りしめておらず、この世に私を結びつけるあらゆることに、あらゆる人への執着を完全に手放しています。ここは私の最終目的地ではないから。私は愚か者でした。愚か者って言うのもいいですか? 言いましたけど。聖書に愚か者はあります。「ローマ人への手紙12章1節」今、私に不満があるその皆さん、それを言うのは気分がいいので。私は自分のことを言っています。あなたのことではありません。この世に自分を縛りつけるなんて、私はとても愚かでしょう。いつラップが鳴ってもおかしくないとわかっているのに。彼らがそれを握りしめるのも無理はありません。待って。置いておけない。それを、それを、、滅ぼされてしまうから。これを持っていこう。何も持って行くはいけません。何も必要ないから。すべての新しいものを手に入れます。錆びがつくこともありません。盗人が穴を開けて盗むこともありません。(マタイ 6:20 参照)

何を持っていきたいのですか? あなたは何も持って行けません。思い出します。さっと一癖あるユーモアを挿入していいですか? ある男が携挙で天国に来ます。そして、なぜか金の延べ棒を持ってきます。彼はそれを持って、携挙された。そして、主は彼を見て仰います。「君、きっとそんな風ではないでしょうけど、ポイントは分かりますね。「君は、何を考えているの? なぜここにアスファルトを持ち込んだの? この通りの、そういうものでできているのに。」OK。思ったよりうまくいったと思います。(会衆:完璧!)

だから、世の終わりの文脈でロトの妻を思い出さないと言ふなら、それはまったく新しいレベルの話では? イエスが語っておられるのは、7年の患難時代の終わりに再臨されることです。そのとき、すべての人の目が、空に稲妻が走るのを見る。(ルカ 17:24 参照)

雲に乗って来られる。誰もこうなりません。「あれが主の再臨なのかな〜。」そう思わないの? つまり、イエスは、7年の患難時代の終わりの再臨を語っておられます。私たちは、さらに高いレベルに引き上げるべきです。なぜなら、患難時代前携挙の後に7年の患難時代があるからです。それは再臨の前に起こります。皆さん、ついてきていますね? ヘマしたのはわかっています。受け流してね。言い換えれば、イエスがそれについて話していて、その前に何が起こるか知っているなら、私たちは、それにどれくらい近づいていますか? つまり、ノアの時代と同様、私たちの時代にも、この世がさらに悪くなるのを私たちはすでに目にしているからです。言葉にできない邪悪さ。彼らは悪を行う新しい方法を発明しました。彼らは朝起きて、目覚まし時計は早くセットして、朝起きて、昨日よりもっと邪悪なことを考え出そうとします。ロトの時代、邪悪でした。「エゼキエル書」の学びから分かりますが、その詳細に深入りしませんが、そのソドムという言葉は、もちろんその言葉の現代的な用法は、、、、つまり、同性愛が蔓延していて、ええ、詳細には触れません。必要ありません。しかし、あまりにひどく、町を滅ぼすために神から遣わされた御使いの男性たちを、ソドムの男たちは彼らとセックスしたかった。(創世記 19:5 参照)

そこで置いておきます。言いたくありません。私たちが今見ているものは、世からの強烈な引っぱる力で、そして世への愛を高め、これは世の終わりを指し示す預言的サインです。だから、救い主に問われる質問の様相が一変するのです。今、私たちには問題があります。早く解決したいと思います。それは、この"分離"のことです。どういう意味か? 私たちは皆、その傾向があります。私も含め、ロトの奥さんから自分を切り離す傾向があります。このことは、、、、そう私は皆さんの思いが読めるからね。何を考えているか分かります。これが私たちの考え方です。「おお、私はそんなことは絶対にしない。」「箴言」で、私は10代用と呼びます。13章14章は、10代向けだと。ソロモンが聖霊によって書いた、「対照的な箴言」と私は呼びま

す。正しい人はこれをする。が、悪しき者は、これをする！！ 私は尊大な驕りでここにいて、「あれらは、悪しき者たちだ！」もちろん、私は、私は自分を最も好ましい立場に置きます。正しい人はこれをする。どうもありがとう。でも、悪しき者はあれをする。いいえ、あなたが悪しき者です。預言者ナタンは、ダビデ王に言いました。

「あなたがその男です。」(IIサムエル 12:7)

だから、「ロトの妻を思い出さない」というような教えから自分たちを分け隔てる、といったお決まりがあります。旧約聖書を繰り返し読むと、それがわかると思います。そう、頼みますよ。主の御前でつぶやき、不平を言うイスラエルの民。いつも、予定通りに。それには予定があって、彼らは不平不満を言うスケジュールを立てていました。「よし、君の番だ。君が不満を言いなさい。」紅海が分けられ、乾いたところを歩いて、主は、エジプト軍を溺れさせてくださった。すると、主を賛美し、褒め称える。あなたがたは以前神を賛美せず、神を非難していた。

「エジプトには十分な墓がなかったから、我々を死なせるため連れてきたのか。」(出エジプト 14:11 参照)

神の恵みと憐れみと愛の絶対的な奇跡を目の当たりにして、乾いた大地を渡ってから時間経ったのかわかりませんが、彼らは、「あ～喉が乾いた。」それで私たちは？「私はそんなこと決して言わない。」いいえ、あなたは言いますって。あなたはその最前列にいるはずですよ。「あ～喉が乾いた。むにゃむにゃむにゃ・・・」ちょっと言い過ぎたかもしれないけど、まあいいや。私が言いたいのはこうです。言いましょ。気分を変えてこういうのはどう？ ただ言います。これは考え直した方がいいかもしれません。私たちはロトの妻たちだから。私たちは皆、ロトの妻のような傾向があります。ロトの妻がしたことを思い出すために。私たちは皆、ロトの妻のように、この世で自分の命を保ち、命を守ることに憧れ、愛を注ぐ性質があります。考えてみて下さい。今ここでじゃなく、私はまだ説教をしているからね。でも、主と共に過ごす時間の中で、聖霊があなたの心に自由に接し、あなたの心を探ってください。時間を取ってください。説得力のあるこれらの聖句をただ黙想する。自分のため、私のために。それは、私たちがいかに膨大な時間を割いて、快適な生活を確保しようとしているかを物語ります。これらの時間節約装置。ごめんなさいね。その時間を節約する装置を組み立てるには、私の時間を節約するより多くの時間がかかります。そして、やっと分かったとしてもそれでもまだ残っている部品があります。何を見落としたりしたんだ？ そして、壊れてしまう。実際、時間を節約するため、より多くの時間を時間節約装置に費やした。だから、基本的に私は、イエスがこう仰った通りのことをやってしまった。「してはいけません。気にする必要はありません。あなたは維持できません。手放さない。」何年も前、本土で、主における兄弟が実際に自分の家を歩き回って、祈って、彼は頭の中と心の中で、たくさん持っていた財産をすべて手放した。ガレージの車、複数、彼は所有権を主に譲り渡すだけでした。「手放します。私は何も持たず、すべてを管理する者。私が持っているものはすべてあなたのものだから。最初に私にくださったのは、あなたです。」で、もうひとつ、それでまとめます。一緒に考えて欲しいのです。理にかなっていませんか？ 世の終わりに近づけば近づくほど、世に屈しないことが難しくなる。言い換えれば、近づくにつれて世からの引きが強くなっていませんか？ 悲しいことに、現実にはロトの妻のようです。世は多くの人々に勝利していて、多くの人々の愛がいかに冷え切っているかは一目瞭然です。「マタイの福音書 24 章 12 節」でイエスが仰ったことに耳を傾けてください。

—マタイ 24:12—

不法がはびこるので、多くの人々の愛が冷えます。

イエスは終わりの日について話しておられます。あえて言うと、こんにち、多くの人に分裂した心があります。そして心は冷えていく。分裂した心はやがて頑なになりますよ。分裂した心で始まり、冷たくなっていく。世が引っ張るからです。どういう意味か？ 世の問題、具体的には政治的に、人種的に、環境的に、文化的に。2、3挙げただけです。大事なものは、どうか聞いて下さい。サタンはこれを知っています。だからサタンはこれを煽るのです。特にキリスト教会の中で、サタンが使うのは、自分の作戦集通りの戦術。この戦術の名前を知っていますか？「分裂と征服」です。サタンはあなたや私よりも聖書をよく知っています。ですから、マタイ、マルコ、ルカの共観福音書のイエスは、分断された家、分断された心について、は

っきりと私たちに警告しておられるのです。こんな表現を聞いたことがあるでしょう？「我々は団結して立ち、分裂して倒れる。」

再度、心から謙虚に尋ねたいのは、イエス・キリストの教会はこんにち、かつてないほど分裂しているのでは？ 世はどうですか？ 世は、こんにち分裂していませんか？ これが作戦です。分裂して、倒れる。団結すれば、立つ。マルコの福音書 3 章 22 節から 26 節、イエスはこのように仰います。

ーマルコ 3 : 22ー

また、エルサレムから下って来た律法学者たちも、(またしても、そんなことがありました。)「彼(イエス)はベルゼブルにつかれている」とか、「悪霊どものかしらによって、悪霊どもを追い出している」と言っていた。

で、23節、私はこれが大好きです。そこにいて、これが見れたらよかったのに。

ーマルコ 3 : 23ー

そこでイエスは彼らを呼び寄せて、たとえで語られた。・・・

ここでどうなったんでしょうね。「あなたたち。わたしはベルゼブルによって悪霊を追い出した？ こっちに来なさい。質問があります。」イエスが質問に質問で答えられるのが大好きです。質問されたという記述がありますね。

「わたしはあなたに質問します。あなたがわたしの質問に答えるなら、わたしもあなたの質問に答えよう。」

(マタイ 21 : 24 参照)

そう、相手が質問に応えられなかったから、イエスは彼らに答えを仰らなかつた。(マタイ 21 : 27 参照) どうです？ ご機嫌よう。皆さんに質問します。(ーマルコ 3 : 23ー)

・・・「どうしてサタンがサタンを追い出せるのですか？

ーマルコ 3 : 24ー

もし国がもし内部で分裂したら、その国は立ち行きません。

無理です。

ーマルコ 3 : 25ー

もし家が内部で分裂したら、その家は立ち行きません。

ーマルコ 3 : 26ー

もし、サタンが自らに敵対して立ち、分裂したら、立ち行かずに滅んでしまいます。

よく注意して聞いて下さい。彼の終わりが来ます。崩落する。その時が来ています。お許しいただけるなら、特に今本当に傷つき、苦しんでいる人たちに、少しでも助けになり、励ましになることを願って、あることについて説明したいと思います。そのため、先に進むので、ユーチューブとフェイスブックでのライブ配信を終了します。

ー本編ー

いくつかの質問から始めたいと思います。私は自分自身に質問するのですが、それはある目的があつてのことと理解ください。その理由はすぐに分かります。ここからが、他の質問が出てくる主要な質問です。

では、主要な質問です。「この世のソドムとゴモラがいかに邪悪になりつつある中、それでもなお自分の心を掴んで離さないものは何か？」今度のアメリカの選挙ですか？ こう言った方がいいでしょう。ここアメリカでの選出ですか？ まだ希望を持っている人たちがいますか？ もしそうなら、それは主に対するあなた

の心を分裂させる影響があります。

「あなたは心を尽くし、主を愛しなさい。」(マルコ 12:30)

心の全てで、半分じゃありません。心の一部がこっちにあるから、心から主を愛せない。それが語っている。自分の国を愛しているから。神と国家を。待って、何て？ それは聖書にありません。実際、テサロニケ人よりも尊いベレア人のように聖典を探せば、その正反対のことがわかるかもしれません。それですか？ まだ私を捉えているのは？ それが私の心の一部を握ってる？ では、もう一つ。最近、死の注射を支持した何人かが、自分たちが間違っていたと認めたこと、それ自体が私には疑わしい。突然のことにお気づきですか？ 今、これを推進していた人たちが出てきていて、(彼らは以前)この死の注射を受けなかった人たちを、もう一度だけ使わせてもらいますが、直接の引用であって、私ではありません。「愚か者！！」呼ばわりしましたが、今、突然登場して、180度違う。どうしたんですか？ ふむ。。ふむ。。と言わせますね。では、私の質問は、その突然の方向転換は、自由のための戦いに勝利できる！！ という希望をあなたに与えますか？ ええ、でも、主の御使いが私に警告している。神の御言葉が私に警告している。「裁きは来た」そして私は取り去られる。そして、あなたが私に言っているのは、「ダメ。留まって戦う、戦う、戦う！！」違います。イエスは逮捕された時、ご自分の王国、王であることを問いただされ、

「あなたは王なのか。あなたは王には見えない。」(ヨハネ 18:37)と言われ、「わたしの国は、この世のものではありません。だからわたしは王には見えない。」それに、わたしの国がこの世のものであったら、わたしの弟子たちは戦ったでしょう。彼らはわたしのために戦わない。わたしの王国はこの世のものではないから。」(ヨハネ 18:36)

思うに、私はアメリカを救うために戦おうとしているのか？ どうでしょう。もう一度聞きます。メモにはありません。どうかこれをさせてください。それは分裂した心に関する、私の心からのものです。思うに、もし選挙の年の政治キャンペーンに費やされる全てのエネルギー、全ての資金、全ての時間が、もしそのすべてがこの地上に蓄えられる代わりに、天に蓄えられるものだとしたらどうでしょうか？ 持っていくことはできませんが、先に送ることはできるからです。まず、もしそのように決断したら、あなたの人生はどう変わるのか？ 時間とエネルギーのすべてを投資する代わりに。なぜなら、あなたがしていることは、これがあなたの優先事項で、これがあなたの宝であることを示すから。私たちがどう言うかは分かるでしょう。「ええ、時間がないから。」いいえ、それが本当に自分にとっての宝で、自分にとって重要で、自分にとって優先順位が高いものなら、そのための時間を作るでしょう。そのための時間を作ります。あなたには時間がある。あなたは時間を作ろうとしない。その時間を割くだけの価値がないから。で、もうひとつ。もう終わります。さっとしませう。それは希望ですか？ どうにかして、そして、これも非常に不思議で疑わしいことで、ブランドミック、彼らがそう呼ぶ通り、私たちがコロナと呼ぶものは、もう終わったこと。もうあまり聞かれなくなったことですが、お気づきですか？ええ、あまり聞かない。たぶん終わったんでしょう。だから今や、私は自分の命を守り、命を維持し、振り返る。以前の生活に戻る。私はそれに希望を抱いているのか？ もしそうなら、私の心は二分している。ワクチンではありませんが、ワクチンと呼ばれるものは、実は大したものではなく、オアフ島ウィンドワード・サイドのあの男のような連中が広めた陰謀論のひとつに過ぎないのか？ 科学の神と科学を創造した真の神との間で、まだ葛藤や分裂があるのか？ というのも、突然、シナリオが変わってしまったから。それで、ああ、もしかしたら、今や、ソドムに戻れるかもしれない。謙虚に言わせてください。イエスが仰ったように、ロトの妻を思い出しなさい。(会衆：はい。)

こんにち多くの信者が、この世のソドムとゴモラに希望を抱いていると提案する私は、強引すぎますか？ それで、なぜこんにちのクリスチャンたちがこんにちのようなことをしているのか、私が思いつく唯一の説明です。あなたが知っていたら、2人の男、2人の御使いがあなたのもとを訪れ、「さあ、JD、これが終わりです。ここから出なさい。」私は彼らを掴んで、「行きましょう。行きましょう。」「他に誰かいませんか？」「いいえ、いません。すぐ行きましょう。私を連れて行って下さい。」いやいや、もちろんそうするよ。一(笑)一 わ～皆さん、本当に笑うのが早いね。皆さんがついてきているか確認しました。あなたならどうする？「行きましょう。」「いいえ、まだです。」結婚する前のことを思い出してください。「ああ、神様、早く来て下さい。でも、私たちが結婚するまでは携挙を起こさないでください。」いや、頼みますよ。で、結婚したら、「おお、主イエスよどうか早く来て下さい。」

最後にもうひとつ。もう終わります。もう終わりますって、言いましたっけ？ 本当にもう終わります。長くなっているのは分かっています。時計を見ないでください。これが私の最後の「聖書預言・アップデート」になるかもしれません。それどうですか？ それが私の話で拘りです。だから、私は心を込めて説教します。ちなみに、私の心は分裂していません。私たちは、預言の類似点をロトの時代やノアの時代になぞらえています。しかし、私たちは慌て過ぎて、性的不道徳、放蕩、邪悪、悪、これらすべてと結びつけようとしています。でも、特にロトの状態で点と点がつながっていないと思うのは、「ロトの妻を思い出すこと」言い換えれば、そう、ロトの時代のようになりますが、ロトの妻たちに関してもそうなります。終わりの時に。彼らは準備ができていません。再度、弁解ではなく説明しています。なぜ誰も携挙について語りたがらないのか。この世に囚われすぎているからですか？ 最後の類似点は、私にとって最も意味深く、私はこれを証拠文と呼びます。強烈ですけど、これは患難前携挙の証拠です。ロトが連れ出されるまで、滅ぼせなかった。この世に注がれる神の御怒りである患難は、教会が取り除かれるまでは起こらない。それだけでも。

では、私は問題と呼びますが、締めまでにもうひとつ、問題に対処せねばなりません。今の世が本当にロトの日のようなのかどうか疑問を抱く人々がいることを痛感します。また、まだ何年も先があるのではと、葛藤し、意見が分かれている人たちがいることも痛感します。なぜそんなことを言うかということ、こう聞くからです。「私たちは、次の世代にどんな世界を残すのか？」は～？？？ 私たちは終わりに選ばれた世代です。私たちは人の子の到来を見る世代です。次世代ですって？「そう、子供たちや孫たち、ひ孫たちのために。」何て？ えっ、あなた、げっ！ 言うのは簡単です。OK。じゃあそれなら、あなたのポイントは？ 私のポイントは、神の御言葉を知っている人が、私たちにはこの先何年もあるといういかなる理由をも思いつく。私たちの時代に起きていることすべてはまるでロトの日やノアの日のようなのに。私はそうは思えません。「牧師さん、これは私を助け、励ますためのものだとおっしゃいましたね。」はい、その理由は、戦いに疲れた人たちへ、私が言いたいのは、元気を出してください。もう今だから。今だから。私は同時に、それをひっくり返して、懐疑論者にこう言います。警告しておきます。今だから。今。ロトの妻を思い出さない。終わりはもはや近いのではなく、私が言うのを聞いてください。終わりは今、ここにあります。だから彼らは不意を突かれ、腕を掴まれてソドムから引きずり出さねばならなかったのでは？ それは彼が予期していなかったタイミングでやってきたから。「ええ、裁きが来るという話は何年も前から聞いていたよ。」で、それが来ました。こんにちと何が違うのか？「まあ、いつかは来るものだし。」イエスは、その時が来る時どのような様子か、私たちが無知であることを望んでおられません。だから、これは単なる盲信ではありません。これは神の御言葉と約束に基づく知的な信仰です。扇情的に聞こえないことを願います。あるいは説得力のある言い方でこう言います。パウロが「第一コリント人への手紙」2章3節から5節で取り上げたように。しかし、私が本当に願うのは、聖霊にいわば余地を与えることです。そうすれば聖霊は、静かな小さな御声で語られます。そうすれば、御霊が教会に語っていることに聞く耳を持つようになるでしょう。また、盲目の人の目を開いて見えるようにするためでもあって、分断され、硬くなってしまった心を開くため、そして、聞く耳を開くために。何を聞くのか？ こんにち、ロトの時代とまったく同じです。たぶん、半分の時間で言えたと思いますけどね。そう言うのに手間取りましたが、賜物です。もう終わります。さっと紹介したいと思います。7つの見出し。見出しだけです。プロパガンダであることは分かっていますが、なぜ私がそれをしたいかということ、サタンが陰湿かつ巧妙に、偽りの父としての嘘を、半分真実という層の下に埋めているからです。半分の真実は丸々嘘だと言われています。さっと、それらを見ていきます。しかし、私がそうする際、「ロトの妻を思い出さない」のレンズを通して、これらを見ることをお願いしたいと思います。彼女には考えられないことでした。今起きたの？という感じです。今起こったことは、彼女を完全に盲目にさせました。その必要はありません。彼女は知るべきでした。以下は、7つの見出し、この30日間に報道されました。時間の都合上編集しなければならなかった数をもしご存知だったなら。信じられないかもしれませんが、実は私は（その数に）敏感です。今日を除いて。

一見出し1 引用一

『次のパンデミックは避けられないが、英国のトップ科学者は、「我々は準備ができていないと警告。』』

まあ、私はそのための準備はできていません。私はあのための準備ができています。

一見出し2 引用一

『世界パンデミック条約 2025 年までに締結へ WHO が発表。』誰 (WHO) が発表？ いえ、遅過ぎますね。もう皆さんの限界かと思います。

一見出し 3 引用一

『イスラエルの残虐化は進行中。私たちが行動を起こさなければ、崩壊は時間の問題。』

次のこれどうです？

一見出し 4 引用一

『2024 年の選挙に災害対策はない。』

一見出し 5 引用一

『世界はキャッシュレス化に向かっている。乗り越えろ。』

一見出し 6 引用一

『イランが新たな核兵器を発表、第 3 次世界大戦の火種になりかねないと警告。NATO 同盟国がウクライナをめぐるロシア軍との直接交戦を検討し、第 3 次世界大戦への懸念が爆発。』

聖書が起こると語る正に通りのことの寸前にいるのです。起ころうとしています。

最後の 7 つ目、これは、主が私に恵みと憐れみを与えてくださいました。私はリサーチしていて、おおなんと、このようなものに目を通すのは嫌いですが、でも、広告が出てきたんです。主よ、ありがとうございます。これを使わせてもらいます。

最後の一つ、準備はいいですか？ 最悪のを最後まで取っておきました。

一見出し 7 引用一

『プライド月間。振り返る。』

振り返る?? おお、ロトの妻を思い出します。ご存知でした？ 6 月のプライド月間をお忘れですか？ そう、2017 年、ニューヨークで、娘が全米オープンで国歌斉唱をしました。ニューヨークの地下鉄に乗って、ダウタウンからアップタウンへ行って、娘は 10 歳でした。私は、ソドムとゴモラの平凡な一日がどんなものであったに違いないかを、あの人たちで垣間見ました。なぜなら、彼らは地下鉄で大パレードをしていたからです。私はそれを義の憤りで共有しているわけではありません。私は傷ついた心で分かち合っています。なぜなら、この人たちはそのためにイエスが死んでくださった人たちだから。そしてこれらの人々は、救われるためにイエスが必要です。繰り返しますが、これはこんにちの世で起きているごく一部であることを知っておいてください。再度、必ずしもロトの日に似ているわけではない、と反論するのは難しいでしょう。そのケースをどう反論するのか、私には理解できません。

最後にもう 1 つ質問させてください。ロトの妻を思い出しながら。私がこの世で振り返りたいと思うこと、あるいは楽しみにしていることはいったい何か？ 私は携挙を楽しみにしています。私にはもうここには何も残っていません。私はここに、私を留めるものは何もありません。父と母が亡くなったとき、私たちをワシントン州スポケーンに留めておくものは何もありませんでした。だから私たちはここに来ました。私は言ったから、

「ハワイですか？主よ、ここに私がおります。私を遣わしてください。」(イザヤ 6 : 8)

もちろん、カイルアガールと結婚したことも後押ししましたけどね。しかし、その場所に私を結びつけるものはもう何もありませんでした。私にはもう何もありませんでした。あなたにとって、ここにまだ何かありますか？ あまりに決まりきったことを言っているように聞こえるかもしれませんが、ある人の言葉を引用します。非常に良いです。“見通しが本当に悪いときは、上を見上げなさい。本当に良いから。”新生したクリスチャンにとって、この世でのいのちを維持することを望みながら、執着を強くするようなことはあって

はなりません。手放して下さい。もう上がろうとしているからです。金塊は持ってこないように。前任者はうまくいきませんでした。「牧師さん、どうやって？」ええ、これは単純化しすぎかもしれませんが、どうすればこの世を手放し、この世を振り返らないかのシンプルな答えは『イエス』です。イエスに恋をしているとき、“ひゅ〜っ”（会衆：アーメン）“ひゅ〜っ”は、私たちが聖霊に満たされている神学的に深い言葉です。あなたは世に対して食欲がありません。イエスへの愛が深まれば、他の何も、誰も愛せなくなります。なぜなら、あなたは心、魂、思い、体、力のすべてでイエスを愛しているから。2、3分ほど時間をください。

「救いのABC」で知られる救いの福音で締めくくります。福音から始めます。その後、福音のシンプルさと、それを知る方法について説明します。ヨハネが語った通り **(Iヨハネ 5:13)**

あなたに永遠の命があると分かる。たぶん、あり得る、かなり確率が高い、ではなく、あなたに永遠の命があると分かる。私がABCを使うのは、どうやって救われるのかを説明するシンプルな方法のひとつだからです。自分が罪びとだと認めることから始まります。

A：自分は罪びとだと Admit/認める。

なぜなら、自分が罪びとだと認めない限り、認めるまでは、救い主に興味を持ちますか？ ですから、その所に行かなければなりません。

ローマ人への手紙3章10節、

「義人（正しい者）はいない。一人もいない。」

自分は良い人かもしれませんが、（神の御目からは）十分良くはありません。「ええ、でも私は誰も殺してませんし。」そういう問題じゃありません。「ええ、十戒10のうち9は守っていますよ。」そうですか。それはまるでいのちが10本の鎖でつながっているようなもののなのにそのうちの1本が切れてるんでしょ。その結果はどうなります？ 一つでも破ったら、律法全体を破ったことになります。**(ヤコブ 2:10)**

「ローマ人への手紙3章23節」がその理由、**「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」**私たちは皆、罪びととして生まれました。だからイエスが仰ったように、神の国（御国）に入るためには、霊的に生まれ変わらねばなりません。福音とは、シンプルに良い知らせという意味です。「あなたの罪の罰則は支払われた。あなたは自由だ。」でも、良い知らせが良い知らせであるためには、まず悪い知らせがなければなりません。悪い知らせとは？ あなたは死刑を宣告されています。**「ローマ人への手紙6章23節」、「罪の報酬は死です。」**

悪い知らせです。悪い知らせが悪ければ悪いほど、良い知らせはさらに良くなります。ですから、それってかなり悪いです。「私は死刑を宣告されているんだ。」いやそう慌てずに、良い知らせがあります。

「神の賜物（贈り物）は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」(ローマ 6:23)

イエスは、あなたの代わりに、ご自分の血を流してあなたの死を受けたお方です。イエスはあなたの代わりに死に、あなたの罰則を全額払ってくださいました。イエスが、あなたの死の罰則を完全に実行し、あなたを買い戻されました。あなたは自分のものではありません。あなたは代価を払って買い取られました。「いくらかったのですか？」イエスはすべてを懸けられた。そして、購入された贈り物をあなたに差し出しておられます。それが「永遠のいのち」です。それがAで、次がBです。Bは、大変中心です。イエス・キリストが主だと、あなたの心で

B：Believe/信じる。

ローマ人への手紙10章9節、

「あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

最後にC、

C：主の御名を Call/呼び求める。Confess/口で告白する。

「心に満ちていることを口が話すのです。」(マタイ 12 : 34)

イエス・キリストが主だと心から信じるなら、私の口から出てくるのは？「イエス・キリストは主です。」
「ローマ人への手紙 10章9節」を再度、「もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと思えば、あなたは救われるからです。」

「ローマ人への手紙 10章13節」、決定打、

『主の御名を呼び求める者はみな救われる。』

主は、主を信じて呼び求める者を決して見捨てられることはありません。今日私は切に願います。ロトの日のようなこの終わりの日に、あなたの救いの日となりますように。私が今日の「しかし、神は。」の証を選んだのは、待つだけの価値があるからです。その理由はすぐにはわかりません。彼女は、少し前の日曜日の礼拝での最前列に座っていた女性の中の悪霊の顕現についてを参照しています。それで彼女はキリストのもとにたどり着いた。ええ、それで紹介したいのです。一拍手一

紹介していい？ そんな紹介しておいて、いやって、言えませんよね。では、彼女が送ってくれた証を読みます。しっかり聞いて下さい。リアさんからです。

「親愛なるファラグさんへ。(興味深いです。)数年前、あなたやあなたのミニストリーに対して辛辣なコメントをした失礼をお許しください。(JD 睨みを効かせるジェスチャー)でも、祈ってくれてありがとうございます。その祈りのおかげで、神は私に救いを与えてくださったのだと思います。あるいは、あなたが何度も仰っている通り、しかし、神は。最近、あなたの礼拝に悪魔の取り憑いた訪問者がいましたね。その礼拝には本当に感謝しています。その翌日くらいに、編集されたバージョンを見たからです。あなたが救いのABCを仰っていた時、私は何気なくあなたの礼拝を聞き、見ていました。(悪霊顕現の後が、救いのABCです)ABCは数え切れないほど聞いてきましたが、しかし、神は、あなたを通して語られ、今回、私の心に触れました。突然、内面がすべて変わり、救われることの意味をようやく理解しました。地獄へ向かう高速列車の現実。信仰心欠如が私の中に湧き上がったからです。突然、私はそれを知った。私は知った。私は知ったのです!!!一瞬にして、私は家族の一員となりました。あの中断は、クリックベイト(ネットの広告表示)をもたらすためのものでした。(そうでした)そして混沌と、混乱、(そうでした)分裂と不安と恐れをもたらしました。(そうでした)しかし、神は。私を養女にし、家族として迎え入れるため、あの悪魔の顕現を用いられました。あの日のことを永遠に感謝します。今、神の足台(これ好きです)に残された残りの時間に何が起ころうとも。私は今、家に帰る途中なのです。・・・ええ、一拍手喝采一 主を褒め称えます。さらに良くなりますよ。さらに。聞いて下さい。

・・・これは私にとって、天の御国を待ち望み、この世のものを蔑む喜びです。・・・(ほ〜)なぜ彼女は、それが今日の私の「聖書預言・アップデート」だと知っていたの?・・・皆さんの祈りと神への誠実さに改めて感謝します。神があなたとあなたの愛する人たち、そしてあなたのミニストリーを豊かに祝福され続けますように。リアより。

追伸：この経験をして初めて、祈りがどれほど、信じられないほど力強いものなのかがわかりました。祈りが私を永遠の地獄から救ってくれました。」主を褒め称えます。一拍手一

カポノ、上がってきて下さい。皆さんご起立ください。ご忍耐、本当にありがとうございます。ええ、そう、、長くなりましたが、私が話す内容のいくつかを残していたら、、もう第二礼拝が始まります。もうおられる方もいらっしゃるんですね。カポノは賛美で、私は祈りで締めくくります。天のお父様、感謝します。

私たちの心を完全にあなたに捧げ、心からあなたを愛する時、この地上の事柄は、妙に霞んでいくことに。私たちに待ち受けることに比べれば、この世には何もありません。主よ、カポノが締めめに賛美するのは、不朽の、不朽の賛美曲です。『イエスよ、私はあなたに従うことに決めた。振り返らずに。』すべての人がこのことを心に刻みますように。私たちは、このように言われるような人たちに数えられませんが、「ロトの妻のように、心が分裂した者だ」とは。最後に、主イエスよ、マラナタ。どうか早く来て下さい。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリー・カネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7